

「R7 年度入学者用」

入学準備お役立ち情報

入学前、保護者のみなさんが苦労するのが入学前準備です。頑張って準備した物でも、いざ入学してみると『こうすればよかった…』なんて事がよくあります。

そんな、入学前に知っていたらよかった！というような、入学までの準備のコツや、入学してからのちょっとした豆知識など、先輩保護者の皆さんから集めた学校生活におけるお役立ち情報を公開します!!



閲覧にあたっての 注意点!!

このお役立ち情報は、先輩保護者の方々の過去の体験談をもとにした、オススメ情報です。

ただし、感じ方は個人によってさまざまです。必ずしもこの通りにすれば良いというわけではありませんので、あくまで参考程度にご覧頂くことをオススメいたします。

基本は学校からの案内通りです。また、年度により学校側の規格や方針が変更となってしまうこともありますので、あらかじめご了承ください。

これからの6年間、
お子様の学校生活が快適なものとなりますように☆



入学前準備

-用品編-

袋物は、学校指定サイズはあくまで目安の為、それ通りでなくて大丈夫です！
大きさのイメージがわかりやすいように、中に入れる物とアドバイスをご紹介します。

用品	中に入れる物	アドバイス
体操着袋	<ul style="list-style-type: none"> 体操着&短パン トレーナー、長ズボン手袋（冬季のみ） 	冬季になるとトレーナー、長ズボンなどを入れます。また、学年が上がりサイズアップすることも考えると、指定サイズより少し大きめをオススメします。
給食袋	<ul style="list-style-type: none"> 給食着（割烹着） 給食帽 	袋はしっかりした厚手の生地や大きすぎる物はオススメしません。
給食小袋	<ul style="list-style-type: none"> ランチョンマット 箸&箸箱 歯ブラシ、コップ マスク 	箸箱や歯ブラシが入るサイズ。 また、給食小袋セットは毎日持参する物なので、2セットあると交換に便利です。
上履き袋	<ul style="list-style-type: none"> 上履き 	上履き袋は、学校ではランドセルロッカーなどで保管する為、かさばらないようかための素材ではなく、折りたためる素材をオススメします。また、サイズアップのことも考えて少し大きめがよいです。
手提げ袋	<p>【月曜日・金曜日】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体操着袋セット 給食袋セット 上履き袋セット 紅白帽 <p>【学期始め・終り】</p> <ul style="list-style-type: none"> お道具箱 防災ずきん 作品や学用品関係 	お道具箱や貸し出し本など、少し重い物も入れたりするので、マチを付けたり、生地は厚めやしっかりとしたものをオススメします。 また、低学年のうちは、手持ち部分が長すぎると引きずってしまうことがあるので、長さに注意です！
タブレットケース	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末 	さいたま市より一人一台タブレット端末が貸し出され、授業などで活用されています。家庭にも持ち帰ることがありますので、ケースを家庭で購入します。もしご家庭で作る場合には、キルティングなどのクッション性のある素材で、持ち手を付けてお作りください。ランドセルに入れて持ち運べるようなサイズだと便利です。

体操着袋

参考サイズ
横 25~32cm
縦 30~35cm

短パン
体操着
冬季に使用します

タブレットケース

参考サイズ
横 24cm
縦 34cm
タブレットの大きさ
23cm×19cm

手提げ袋

参考サイズ
横 45cm
縦 30cm マチあり

お道具箱

※お道具箱が入るサイズでご用意を

上履き袋

給食袋

給食小袋

※ランチョンマットの置き方

机の上に敷いてお盆を載せます

折りたたみ式コップ

用意しておく便利なオススメ品

用品	オススメ理由
折りたたみ傘	入学後に学校での置き傘として準備が必須になってくるので、入学前に準備をして、使い方・たたみ方・保管方法などをしっかりお子さまと確認しておくことをオススメします。
折りたたみ式コップ	給食小袋セットは、毎日ランドセルの中に入れて持参します。その為、セットの1つである歯磨き用のコップが大きいと、かさばってしまいランドセルの中に入りにくくなります。旅行用などの折りたたみ式コップはコンパクトでオススメです。 (東小では小袋をランドセルの外側に引っかけることは安全上の観点から禁止となっています)
算数セット用 お名前シール	算数セットの小さなおはじき等に名前を付けるのが大変なので、ネットで販売している算数セット用のお名前シールを活用してみるのもオススメです。

※ポケットポーチ

毎日ハンカチ・ティッシュを持参するので、それらをポケットポーチに入れているお子さんがいますが、出来るだけズボン・スカートのポケットを使うようお願いいたします。やむを得ず使用する場合は、体育・休み時間・掃除の時間は外す、キーホルダー等の装飾はNGです。ショルダータイプは安全上ご遠慮ください。
(毎月8日は、ハッチの日として、各クラスでハンカチ・ティッシュをしっかりとってきているかのチェックをしています)

-登下校&生活面の準備編-

小学生になると、学校までの登下校は通学班や下校班となり、児童のみで歩いて行かなくてはなりません。また、学校生活の中でも、今まで親や先生が何気なくフォローしていたことも、児童自身で頑張らなくてはならない場面が増えてきます。そこで、入学前に練習したことや親子で確認しておいた方が良いことなどをご紹介します。

内容	アドバイス
登下校ルートの確認	自宅から、学校までの道のりをお子さまと実際に歩いてみることをオススメします。交通量が時間帯によって違うので、出来るだけ通学時間に近い時間帯や、晴れた日だけではなく、特に雨の日に傘を自分でさして歩いてみてください！どれだけ濡れるかや傘の危険などの発見もあるかもしれません。また、通学班で高学年について行けるか、歩くスピードなどを意識してみるのもポイントです！
傘の使用練習	毎年、学校についてから、昇降口で傘の閉じ方・たたみ方に苦戦している1年生を目にします。ぜひ、お子さまと、通常の傘・折りたたみ傘ともに、使用の仕方を確認して練習してみてください。
名札の装着練習	東小では、名札は学校にいる間しか使用しません。その為、学校に着いてからまず1番はじめにやるのが、自分で名札を装着することです。安全ピンは自分で着けられますか？針で手や身体をさして怪我をしない為にも、事前に練習しておくことをオススメします。(市販の服を傷めない名札クリップも使用可能です。)

傘の使用マナーについて

子どもたちの集団での登下校では、誤った傘の使い方が危険につながることもあります。ぜひ親子で傘の使用マナーについても確認をお願いします。



あそばない

傘はおもちゃではありません。人に向けたり振り回したらケガをします。



傘はおもちゃではないよね。振り回したら危険！

しっかり持つ

持ち方によっては周りの人にぶつかってしまいます。



横に持ったら周りの人に当たってしまうよ。縦にしっかり持っているね。

あてないように注意

すれ違う際に、傘を持つときの角度によっては相手の顔や抱っこされている赤ちゃんに当たってしまいます。



すれ違う人に傘がぶつかっているよ。これは危ないね。すれ違う際は、周りをよく見て、傘が当たらないようによけているね。

とんだり間隔をあける

特に狭い道では隣の人の間隔を意識してみよう。身長差によっては傘が顔に当たってしまいます。



隣の人と近すぎるので、傘が当たってしまっているね。間隔をあけるとスムーズに歩けるね。

入学式～入学当初



- 入学式当日は、その場で色々と記名することが多い為、“ネームペン”を持参しておくとお便利です。
- 入学数日間は、色々な書類の提出や教科書などの名前書きなどが大量にあります。その為、スケジュールにも余裕をもっておくことをオススメします。



入学後

-こんな物を使うよ！編-

入学後に必要になってくる物やストックしておくといよい物などをいくつかご紹介します。

上履きに、学年と名前は、事前に記入できても“クラス”は、その場でしか記入できないので、ネームペンがあると便利です！

項目	内容
紛失しやすい物	入学当初は、色々な物を間違えて持ち帰ったり、紛失してしまったりすることがよく起こります。消しゴムや鉛筆、箸&箸箱等の予備を用意しておくとお急になくても安心です。
注意が必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの文房具は、トラブルの元となりがちであること、授業に集中できない等の理由により好ましくありません。 ・消しゴムは白色をご準備ください。 ・定規をご準備の際は、折り畳み式や柄付きのものは禁止ですので無地の物をご準備ください。
体操着用トレーナー 長ズボン	冬になると、体育の時間の寒さ対策として、体操着の上にトレーナー(フード・チャック・ボタン不可)や長ズボンなどを着用することができます。体操着の上から着脱しやすいサイズをオススメします。
保管場所があったら ストックしておく 便利な物	授業や清掃の際によく使用するものです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきん(毎学期明け 2 枚持参) ・レジ袋 ・食品トレー ・モールやビーズ、ボタンなどの装飾品 ・空き箱(ティッシュ、お菓子 等) ・トイレットペーパーやラップの芯 ・新聞紙(ある方のみ)
音楽バッグ (横 45 cm×縦 30 cm) ※マチが良いです	机の横にかけても下につかないサイズのバッグ 中に入れる物→ファイル、教科書、歌集、リコーダー(小3から)等 
ランドセルに入れて おくと便利な物	<ul style="list-style-type: none"> ・割り箸(箸を忘れた際に) ・エコバッグ(急な荷物を持ち帰りに)

-その他-



まだ先ですが、購入する習字道具セット(3年生から必要です)のバッグは、2学期後半になると書き初めセットを用意する為、幅の大きめタイプを購入した方が併用できるのでオススメです。(スリムタイプだと書き初め一式は入りきらない場合があります)



長靴での登下校は疲れやすく、また、天気が回復して外で体育の授業などがあつたりする場合に、運動しにくい場合があります。小雨程度なら運動靴に防水スプレーをする方がオススメです。(靴下の予備を持たせるなども)



学年が上がっていくごとに、学ぶ漢字が増えていき、会話の中でなかなか使用しない言葉が出てくるようになります。子どもだからと言って、分かりやすい言葉を選ぶのも良いですが、また違う視点で普段から色々な言葉、プラスことわざや四字熟語などを使用してみるのもオススメです。

いかがでしたか？

新1年生の保護者さまにとって少しでもお役にたつ情報があつたなら嬉しいです。
4月に皆様にお会いできることを楽しみにしております☆